

平成 26 年度 定時制学校評価実施報告書

県立神奈川総合産業高等学校

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>単位制システムを活用した多様な生徒のニーズに応える教育課程の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じた集中講座の設置等、学校設定教科・科目の精選</li> <li>・履修指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上級学校において役立つ学力」「社会の中で強く生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る学校教育の成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制のシステムを最大限に活用できるように選択科目を整理し、柔軟な学びの場を提供した。</li> <li>・多様なニーズに対応した系列ごとの履修指導計画を確立したことにより、学習目標が明確になり学習意欲を高めることができた。</li> <li>・学力差を考慮した学習形態を工夫して学習意欲を維持・継続させることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制総合学科としての専門教科・工業を生かした教育課程の研究と多様な生徒の実態に応じた履修指導の一層の充実を図る。</li> <li>・定通併修、全定課程間併修の充実を図る。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒に対応した丁寧な指導に感謝している。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による授業評価が高く、よりわかりやすい授業の実施に取り組んでいる。</li> <li>・生徒のコミュニケーション能力を向上させるため、話し合いの機会を多くする取り組みは評価できる。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生徒のニーズに対応した系列ごとの履修指導計画を確立したことは、大きな成果である。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は「生徒に身につけさせたい学力」をさらに明確にし、教育課程の研究を進める。</li> </ul>
<p>充実した明るい学校生活を支援すると共に規範意識と社会的言語能力をしっかりと身に付けた自立した社会人を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の年次会と情報交換の徹底</li> <li>・相談体制とケース会議の充実・あいさつの励行および校内美化の推進</li> <li>・モラルやマナー意識向上を目指した道德教育の推進</li> <li>・特別活動の活性化と充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の状況把握ができたか</li> <li>・支援が必要な生徒に対し早期対応ができたか・生徒の規範意識の変容</li> <li>・特別活動等の新たな取組の実施状況と成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次ケース会議の更なる活性化により、きめ細かな情報交換が行われ、組織的指導の強化がなされた。また教育相談チームを中心とした支援体制は、個々にマッチしたものとなった。</li> <li>・授業中の携帯電話等の指導については、非常勤も含め職員一丸となって取り組んだことにより、マナーやモラルが向上し指導に関する成果がみられた。</li> <li>・生徒の健康に関する取組については見直しを行い、指導の改善を図った。</li> <li>・生徒会活動の活性化と充実を図る行事を実施した。</li> <li>・新生入生への部活動紹介や全国大会壮行会など部活動を盛り立てる体制を整えた。</li> <li>・就職試験解禁の直前に、生徒の進路指導として面接指導を中心とした社会的言語能力を高める進路講演会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への組織的な支援の充実を図る。</li> <li>・特別な支援が必要な生徒へのよりマッチした支援の実現を目指す。</li> <li>・生徒のマナーやモラルの指導については、挨拶や会話、所作等日常的に指導する体制を検討し、実施したい。</li> <li>・生徒がより健康で安心して学び、生活できる環境づくりを推進する。</li> <li>・今後も一層、生徒が主体となる取組みを充実させていきたい。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細かい指導により落ち着いた雰囲気になっている。今後も、学校と保護者が密接になる関係を大切にしていきたい。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への指導がいきとどき、落ち着いた学校生活が遅れている。</li> <li>・子どもたちの質が変わり、メンタル面で課題を抱える生徒が増えている中で、学校全体で相談体制を構築していることは評価できる。よりきめ細かい対応をするため、外部機関の活用も必要である。</li> <li>・メールやラインでのトラブルが増えている。把握が難しい状況にはあるが、対応を検討する必要がある。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会や部活動等生徒の主体的、創造的な活動への支援は十分な成果があった。</li> <li>・生活指導方針の共通理解の深化に伴う組織的な指導は一定程度の成果があった。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の活性化については、今後も継続させたい。また行事については全員参加を目指し取り組みたい。</li> <li>・より良い学習環境と生活環境を保障し、生徒が主体的に活動できる学校づくりを行う。</li> <li>・学校と家庭がよりよく連携協力できる体制を整える。</li> </ul>

<p>生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践し、学習習慣の確立を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい授業の実践</li> <li>・生徒が主体的に参加する授業形態の工夫</li> <li>・授業規律の徹底</li> <li>・生徒による授業評価を活用した教科指導の工夫と改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の授業への取り組み状況の変容</li> <li>・定期試験の結果</li> <li>・生徒による授業評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの場」としての教育環境を整えることができた。</li> <li>・基礎学力の定着と発展的学習指導を行う「切磋琢磨週間」「夏季講習」（1年次）を実施した。長期休業中や放課後、自習をする生徒が増えた。</li> <li>・全職員で取り組む研究授業を2回実施した。その際指導主事を招致し指導助言をうけた。</li> <li>・生徒による授業評価の集計結果から、授業改善の手立てによる成果がうかがわれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律の指導は継続して行い、授業を抜け出し徘徊する生徒や遅刻・早退者は、ほとんどいなくなった。</li> <li>・「生徒の意欲を引き出す授業を工夫し、学力の向上を目指す」というテーマを設定した。「チームでつくる授業」体制を継続して取り組む。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による授業評価が良くなっているため、よりわかりやすい授業が行われていると感じる。生徒本人の学習への取り組みの評価が低いので、後は生徒自身のやる気だと思ふ。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による授業評価が良くなっている。基礎学力の定着や発展的な学習指導の成果だと思われる。</li> <li>・資格取得に取り組むことが学習習慣の定着に繋がっている例がある。積極的に資格取得に取り組む、学ぶことの必要性を身に付けることも必要である。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一丸となって授業規律の徹底に取り組み「学びの場」として安心して落ち着いて学べる環境をつくることができた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は「生徒に身につけさせたい学力」をさらに明確にし、授業改善に取り組む。</li> </ul>
<p>生徒一人ひとりのキャリアの発達を目指し、それぞれの進路実現を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科の必修科目である「産業社会と人間」の充実</li> <li>・いいなプロジェクト（就職活動サポート、シチズンシップ教育、道徳教育、交通安全サポート）の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の職業感の変容</li> <li>・各サポートへのアンケート結果</li> <li>・希望する進路先への進路状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」において自己の進路について、調べ学習の形式で自主的に学ぶ時間を設けた。</li> <li>・専門学校体験講習会を実施し、生徒個々のニーズに応える進路体験を行った。</li> <li>・「いいなプロジェクト」の活用 ハローワークとの連携により、「産業社会と人間」において、職業観を養うきめの細かい指導ができた。 社会的自立に向けて、相模原市の保健福祉機関等と多数連携した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」の生徒一人ひとりの取り組みの意欲差が大きい。</li> <li>・上級学校出前授業を夏季休業前に実施し、進路活動が早い時期からできるようになった。継続していきたい。</li> <li>・「いいなプロジェクト」の活用 就職支援としてハローワーク及び地域の企業との連携を図りたい。 職業的自立のほか、多様な生徒の社会的自立に向けた関係機関との連携をさらに充実させていきたい。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上級学校出前授業等で様々な職業を知る機会が設定されているので、職業選択の参考となっている。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な職業を知る機会を設けて、早い時期からの職業選択の意識付けに取り組んでいる。</li> <li>・心の問題が課題。若いうちから十分なケアが必要である。若者サポートステーションでの就職支援や心の相談等の活用も必要である。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分探しの総合学科」として生徒が主体的に活動する姿を見ると出前授業等の実施回数を増やすことも検討したい。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した社会人となるべく職業観の醸成とともに日常の学校生活の中で、「社会的言語能力」をしっかり身に付ける取組を継続していきたい。</li> </ul>

<p>地域および学校間の連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、家庭、地域が連携した教育活動の展開及び開かれた学校づくりの推進</li> <li>学校説明会、ホームページ等を活用した学校広報活動の推進</li> <li>交通安全教育等本校が拠点となる取り組みの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組状況や活動状況とその成果</li> <li>地域や外部機関との連携、活動状況やその成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いいなプロジェクト」の活用 交通事故ゼロ運動では相模原南警察署・相模原南区役所・南交通安全協会等と連携し、学校周辺の交通マナーアップを目的に年2回活動した。</li> <li>地域貢献活動・防災訓練等において、地域自治会へも案内掲示をし、地域住民も参加して実施することができた。地域貢献活動では、後援会（保護者）と連携して実施した。</li> <li>文化祭に向けて地域の小学校や児童館を訪問し、縁日無料券を配布した。当日は多くの来場者で盛況であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携事業の実施時期を固定することにより周知を図ることができた。</li> <li>地域自治会への広報活動や情報交換を推進していきたい。</li> <li>「いいなプロジェクト」のさらなる活用を図っていきたい。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校、家庭、地域が連携することで生徒が落ち着いた学校生活を過ごせている。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も子どもたちに「母校がきれいで安心して学べる場所」と思ってもらえるよう、環境づくりが必要である。</li> <li>学校が多い地域なので夜になると環境が大きく変わる。そういう中で地域との連携がしっかり取組まれている。今後も安全を意識した情報交換等交流が必要である</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夜間定時制の時間的な問題等地域連携の難しさがある中で、一定の体制が整備された。今後もさまざまな外部機関との連携を推進していきたい。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域との情報交換や交流を促進する工夫を検討する。</li> </ul>
<p>安全・安心で信頼される学校となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校防災力の向上</li> <li>教職員の不祥事防止への自発的取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育学習会等の成果</li> <li>夜間停電対策の充実状況</li> <li>日々の声掛けやスローガンによる意識啓発の成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急連絡手段として「まち comi」の導入を行い、生徒、保護者の登録を進めた。</li> <li>防災訓練では、夜間停電を体験してから煙ハウス体験、震度体験、消火訓練を行った。</li> <li>帰着訓練では、地区の防災マップを利用して避難所・消防署の確認を行った。</li> <li>防災意識の向上のため、防災備品、発電機の使用方法について職員対象の防災用品研修会を実施した。</li> <li>不祥事防止対策として、職員の一言スピーチを年2回行った。また各グループによる不祥事研修会を職員会議後に行った。</li> <li>職員会議・打合せ時に、啓発資料を利用し管理職より指示伝達を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち comi の登録者は、194 名が登録をしている。（登録率は60%）</li> <li>防災用品研修会は今年度の新しい取組であるが、地域防災等の意識が深まった。</li> <li>職員の一言スピーチによる不祥事防止の取組は職員の意識啓発に成果があった。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まち comi メール」により、学校の情報が直ぐに伝わってくるのでよい。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣からの苦情がなくなり落ちついた雰囲気になった。</li> <li>防災訓練に地域住民も参加し、学校と地域が連携した対応ができた。近隣住民には実際の災害時に、遠くまで逃げられない人もいますので、今後も防災での連携が必要である。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まち comi の登録者が増加した。</li> <li>地域との連携を図りながら、充実した内容の防災訓練を実施することができた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後はさらに地域の避難場所としての運営に着眼し、「自助」訓練だけでなく「共助」訓練の内容を加えていくことも検討する。</li> </ul>